

栄小研究部通信

提案授業:社会科【5年2組 年代学級】～振り返り～

1 授業参観シートより先生たちの声 「1. 評価基準の設定について」

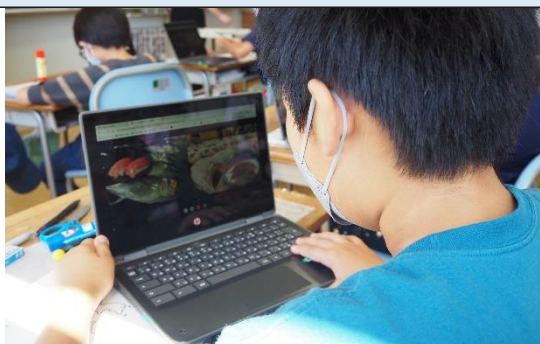
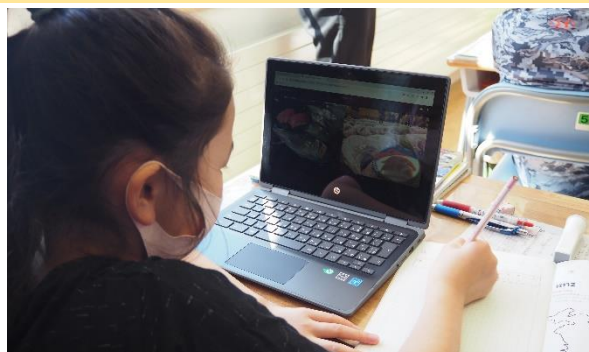
- ・社会＝資料の精選のポイントを捉え、それらを比較することに着目した点が良かった。
- ・評価基準が本時の目標を踏まえたものであり、さらに具体的な子どもの姿で書かれていることが良かった。
- ・「資料を比較しながら」という点で、それを達成するための準備（資料作り）がされていて良かった。



- ・単元計画の中に位置付けられていて、確かな見通しをもって授業者が進めているところが素晴らしかった。
- ・評価基準を見据え、児童への手立てが計画されていた。
- ・授業者の意図していることや指導計画上に思判表の見取りがどう位置付けられているかが分かった。

2 授業参観シートより 「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- ・画像を比較することにより、子どもたちが意欲的に学習し、値段の違いを考え、表現することができていた。
- ・子どもたちが自分のタイミングで自分の角度で資料を見たことが「理解」や「気づき」につながっていた。
- ・今まで思判表を伸ばすのにどう子どもにアタックしていくか曖昧だったがICTは取り組みやすいし、子どもにもICTがあると個に応じて取り組めるよさがある。



- ・社会の資料提示で有効活用できることが分かった。
- ・年代先生が資料のどこからそう考えたのかを発表させていたのでとても良かった。
- ・たくさんの資料を、自分の手元で拡大したり、見比べたりICTの利点を生かした活用になっていた。
- ・ただICTを使うのではなく、意思表示のツールとして活用されていた点が良かった。

3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」

- ・これから何を学んでいくのかを、しっかりと認識し、まとめている。
- ・学び方の感想や日常生活に生かす振り返りなど、今回の授業を通してアウトプットの視点がたくさんあることに気付かされた。
- ・児童の発言に対して、授業者が質問していくことでさらに深く考えられているのだなと感じた。

- ◎「学習のまとめ＝振り返り」とするのかについては全体で協議が必要。
- ◎「まとめ・振り返り」の置き方が難しいと改めて感じた。
- ◎「学んだこと」「学び方」のどちらを聞くか、まとめるか大切になるので今後改めて考えていきたい。



- ・振り返り、まとめの前の交流がとても良かった。
- ・項目に応じた発表は分かりやすかった。
- ・振り返りのところも様々な資料と関連付けていて気付きやすかったと思う。
- ・板書が整理されており、まとめと振り返りにつながっていた。
- ・学んだことを生かし、キーワードを入れていく方策は、児童全員がアウトプットに取り組んでいたのが良かった。

4 授業参観シートより先生たちの声「4. その他」

- ・大変丁寧な指導案で様々な場面で年代先生のすばらしいアイデアが活用されていた。
- ・日頃の授業の積み重ねをノートのまとめや発表の方法、根拠を明確にした発言などから感じた。
- ・理論と授業（単元含め）がよく練られていた。
- ・子どもの反応を想像しながらよく練られた授業だった。
- ・準備から手を抜かず、こだわって授業を作る姿がすばしかった。



年代先生のアイデアあふれる魅力的な授業に「勉強になった」「刺激を受けた」「真似したい」という声がたくさんありました。お忙しい中、事後研での討議や授業参観シートの提出等のご協力ありがとうございました。そして年代先生、社会という難しい教科で授業公開していただき、たくさんの貴重な提案をしていただき本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

- ・社会の授業を0から作ることや資料探し等、どうやったら楽しい授業になるかと考えて授業を作る努力がすごい。
- ・指導主事訪問、夏休み明け、社会など難しい状況が重なっていたにも関わらず見事にこなし教材との向き合い方がすごい。
- ・しっかり資料を見て比較して考えるということが習慣化されていると感じた。

❁「R4 研修」のクラスルームには、事後研で出たグループの意見に加えて、事後研の記録や松本指導主事から提案していただいたスライドも入っています！今後の授業作りにぜひご活用ください。

